

2025年6月24日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社グローバル・リンク・マネジメントと「ESG 経営支援ローン」を実行

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンスの取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

株式会社三菱UFJ銀行は株式会社グローバル・リンク・マネジメント（代表取締役社長 金 大伸、以下 グローバル・リンク・マネジメント）に、本商品にてローンを実行いたしました。

グローバル・リンク・マネジメントは MUFG の人的資本経営評価において、「特に進んでいる ESG 経営」である「A」ランクを取得しました。

グローバル・リンク・マネジメントを含む GLM グループでは、2023 年に [サステナビリティ方針](#) を策定すると同時に 9 つの [マテリアリティ](#)（重要課題）を特定し、2024 年には長期方針「GLM1000（経常利益 1,000 億円）」および 2025 年中期経営計画「GLM100（経常利益 100 億円）」の達成に向けてマテリアリティの見直しを行いました。グローバル・リンク・マネジメントは、この計画で掲げられた「世界をリードするサステナブルな企業グループへ」というグループ方針に基づき、サステナビリティを経営の基盤に据えています。

【高く評価した ESG に関する取り組み】

<ESG 全体>

トップマネジメントの関与

代表取締役社長を含む経営層がサステナビリティ推進に関与し、定例会議を通じて体制が構築されている。

ビジョンと方針

サステナビリティ方針が定められている。

リスクと機会の管理

ESG に関するリスクと機会の特定、企業価値向上の観点からマテリアリティ分析が実施されており、それらを定期的に見直す体制が構築されている。

情報開示

サステナビリティに関する専用の Web ページを開設し、ESG に関する情報が提供されている。また、決算説明資料において、サステナビリティに関する情報提供が行われている。

<環境>

ビジョンと目標管理

KPI の進捗状況が経営会議にて評価・報告されており、環境配慮設備投資の効果も算出されている。

機会とリスクの管理

TCFD 提言に基づく財務的影響を算定するなど、リスク・機会の定量評価が行われている。

環境配慮活動の促進

環境関連の研修・勉強会が年 1 回以上実施され、マテリアリティと各事業部門管理部門の業務計画が紐づけされた評価が実施されている。

サプライチェーンにおける取り組み

ZEH・ZEB 等の環境配慮型建築を推進し、建物・住宅の使用に関わる排出量の削減に貢献している。

コンプライアンス

組織全体のコンプライアンスに関する基本的な考え方をコンプライアンス方針として定め公表されている。また、過去 3 年間で重大な環境関連のコンプライアンス違反が発生していない。

気候変動

直近年の関連する全てのスコープ 3 カテゴリーの算定と外部認証を取得。

<社会>

ビジョンと目標管理

人材育成方針・社内環境整備方針が策定され公表されている。また、社会への取り組みに関する重要な KPI を定め、育休復帰／子育てとの両立支援などで様々な施策を計画・実施されている。

労働環境

労働時間管理の指導が行われ、時間外労働時間が公表されている。フレックスタイム制や短時間勤務制度を導入することで労働時間の短縮につなげている。

人権

ハラスメント研修を年2回実施し、過去3年間で差別に関する問題が発生していない。

<ガバナンス>

ガバナンスの構造

経営会議での審議体制を整備し、女性取締役が選任されている。また、第三者機関による個別インタビューが毎年実施され、その分析・評価結果がホームページにて公開されている。

腐敗防止

内部通報窓口が設置され、重大案件は取締役会に報告される仕組みとなっている。

報酬とインセンティブ

取締役の報酬は、固定報酬、業績連動報酬、非金銭的報酬（株式）により構成されており、会社の持続的な成長に向けた健全なインセンティブとして機能するよう設計されている。

株主との関係

議決権の状況が明確に開示されている。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上